



発行:(株)山研ビルサービス 発行日:2025年8月25日

272-0143 市川市相之川 1-18-20 Tel:047-358-4023 Fax:047-357-3738

HP : <http://www.yamaken-bs.com> E-mail : office@yamaken-bs.com

「旅は人生を豊かにする」

日本語の「たび（旅）」は、見知らぬ道を迷いながら訪ねて行く「たどる日」が詰まつたという説がある。江戸時代にはとんでもない旅のブームがわき起こる。「おかげ詣で」と呼ばれる伊勢の神宮への全国からの集団参詣である。数百万人規模のものが、およそ六十年周期で三回も発生した。経済効果はすさまじく、ファッションや芸能も各地に伝播したという。他藩の領地を通るために不可欠な通行手形も、伊勢参詣を目的とする旅であれば、ほぼ無条件で発行してもらえた。そのような集団参詣なら、不安も恐ろしさもなく、嬉しいいっぱいの旅だったであろう。現代ではいとも楽々と旅に出られる。逆に不安を抱きながら見知らぬ土地に足を踏み入れる旅の醍醐味を味わいたい人は、あえて不便で不自由な方途を選んだらしい。未知との遭遇という楽しみは、何倍にもなろう。旅は目的よりもその過程にこそ値打ちがあることもわかるだろう。

月日は百代の過客（かかく）にして、行きかふ年もまた旅人なり（おくのほそ道）
月日は終わりなき旅を続ける人のようであり、来ては過ぎゆく年もまた旅人のようなものだ。松尾芭蕉は万感を込めてそう綴った。

永遠の時の流れの中で人はみな旅人としての人生を歩む。自由で気ままな旅、迷いと不安だらけの旅、トラブル続きの旅、病を得て動けなくなる旅……。旅には色々な顔がある。そのどれもが意外性に溢れた非日常の世界であるがゆえに、人は旅に出て人生をもっと深く味わいたくなる。あまりに順風満帆で予定通りの日々では面白くない。人生の主役は自分自身だが、歩む筋書きまで自分で書くわけではない。思うようにならないことこそが旅の魅力、人生の醍醐味なのではないか。南北に長く、自然の恵みいっぱいの日本列島には、その土地ならではの文化や伝統が潜んでいる。元気なうちにもっと旅に出ようではないか。（※丸山敏秋著『朗らかに生きる』より抜粋させて頂きました。）

私も旅は好きで50歳の時と70歳の時、四国お遍路の旅に出た事があります。
行く前にとってもわくわくしてどんな事が起きるのか楽しみでした。
歩き始めると足が痛くなり、つらく厳しい旅になり1~2週間で足が慣れる
とまたわくわく楽しい旅に。途中色々な事があり体験があり自分の人生に
とって素晴らしい体験になりましたね。旅はいいですね！

— 山下 久人 —



「命のリレー」



【代表取締役社長】山下 信之

連日厳しい暑さが続いているが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

私事ですが、今年は妻の初盆（新盆）でした。お盆の準備・作法などわからないことばかりで戸惑いながらインターネットで調べたり、両親に聞きながら、提灯を用意し、盆棚の飾りをして、迎え火を焚いて故人の靈をお迎えしました。菩提寺のお坊さんに読経して頂き、故人に手を合わせ、感謝を伝えました。日本ではお盆の風習は、地域や家庭によって様々ですが、お盆は亡き人の魂が帰ってくる大切な期間、家族・親戚が集まって故人に想いを馳せながら過ごすのが大切なかなあと感じました。ご先祖様が繋いでくれた命のリレー、自分の命の土台であり今こうして幸せがあることに自然と感謝の念が湧きます。そして私の子供、孫達へと引き継いでいけるように生きなければと思います。



●現場報告

【営業部】大野 広亮

「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」
かの有名な武田信玄公の言葉です。（立派なお城を築くよりも人を大切にし信頼関係を築くことが重要だ）という教訓を表しています。今現在、この言葉の意味を強く感じています。今年の夏も、市川市からの委託でプール運営業務を行なっています。

業務内容は開設前の清掃から始まり、水質管理、プール監視と続いているが、特に人員確保が中々の課題で、事務所の皆さんのが四苦八苦して人集めに奔走し、他部署の皆さんにもご協力頂き、綱渡りでここまで来ましたが、今も毎日混乱している状況です。そのような中で、皆さんの温かいご協力を肌で感じ、冒頭の言葉を強く感じておる次第です。各監視員さん、巡回員さんの暑い中での奮闘、事務所の皆さんのご活躍、会長社長始め他部署の皆さんのご協力、私がプール運営に掛かり切りの中、某千葉方面病院現場責任者の奮闘活躍始め、他現場の皆さんのが奮闘。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

年々暑さが強まり、中々気も休まりませんが、どうぞ皆様、お身体ご自愛下さい。
最後に、プールの時期になるといつも思い出すアントニオ猪木さん引退挨拶の言葉を紹介させて下さい。

「人は歩みを止めた時に、そして挑戦を諦めた時に年老いていくのだと思います。
「この道を行けばどうなるものか 危ぶむなけれ 危ぶめば道はなし
踏み出せばその一足が道となり その一足が道となる
迷わず行けよ 行けばわかるさ」



